

御所湖隨想

H24年6月 No.40

ヤナギの綿毛

木々の緑もかなり濃くなってきたと思ったら、5月31日にエゾハルゼミの声を聞きました。気温も上昇し、蝉たちの恋の季節を迎えたようです。

さて、この季節の風物詩なのですが、ヤナギの綿毛がふわふわと飛んでいるのに気づきませんか？御所湖畔にはシロヤナギやタチヤナギなどの大きな柳がたくさん生えていて、それらの



綿毛がタンポポのように風に吹かれて、飛んでいるのです。上の写真のように、道端を白く縁取っていることもあります。この‘ふわふわ’しているものをじっくりと観察してみてください。綿毛の中に小さな黒い点が見えますよ。これがヤナギの種子なのです。本当に小さい種なのですが、地面に無事着地し運が良ければ、やがて芽をだし、大きく育つこととなります。ただし、ヤナギの種子の寿命は短く、多くは発芽せずに死んでしまいます。



ところで、この白い綿毛のことを‘柳絮(りゅうじょ)’と呼びます。お隣の中国においては、4月ごろから始まり、歩行を困難にするほど飛び交うそうです。この辺ではそれほどではないですが、洗濯物に絡み付いたり、家の中に入り込んだりして、ちょっと厄介です。

冒頭にセミの出現について書きましたが、尾入野湿生植物園では、シオヤトンボがすでに出現しています。また、カキツバタも咲き出しました。6月10日頃には見ごろを迎えると思います。なお、9日の10時から植物園で‘虫’の観察会を開催しますので、カキツバタ鑑賞も兼ねて足をお運びください。色とりどりのツツジや初夏を告げる木々の白い花が皆様を迎えてくれます。



ファミリーランドの「賢治の花壇」では、ポピーも満開になります。

6月のさわやかな風に揺れる新緑と御所湖、岩手山、七ツ森、シオンの像…。